各　　位

平成23年６月30日

会 社 名　日本ケミカルリサーチ株式会社
代表者名　取締役会長兼社長　芦　田　　信
（東証・大証各２部　コード番号4552）
問合せ先　管理本部　総務部長　三浦　祐一
（ＴＥＬ　0797-32-8591）

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社であるグラクソ・グループ・リミテッドおよびグラクソスミスクライン・ピーエルシーについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

１．親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

（平成23年3月31日現在）

名称	属性	議決権所有割合（%）			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
グラクソ・グループ・リミテッド Glaxo Group Limited	その他の関係会社	24.86	－	24.86	－
グラクソスミスクライン・ピーエルシー GlaxoSmithKline plc	その他の関係会社	－	24.86	24.86	ロンドン証券取引所(英国) ニューヨーク証券取引所(米国)

２．親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称	その理由
グラクソスミスクライン・ピーエルシー	グラクソスミスクライン・ピーエルシーは、グラクソ・グループ・リミテッドの株式を99.99%間接保有している親会社であり、同社のコーポレート・エグゼクティブ・チーム・メンバーより社外取締役を１名招聘しております。

３．親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

（１）親会社等の企業グループにおける上場会社の位置づけ

当社は平成21年12月18日にグラクソ・スミスクライン・グループ（以下、「ＧＳＫグループ」といいます。）と資本提携および医薬品開発・販売に係る包括契約（以下、「本契約」といいます。）を締結しております。本契約に基づき、グラクソスミスクライン・ピーエルシーはその子会社グラクソ・グループ・リミテッドを通じて当社議決権の24.86%を保有しており、当社はＧＳＫｐｌｃの持分法適用会社であります。

また、ＧＳＫグループと当社が共同開発品目の開発促進をはかり国際的な医薬品会社で培った経営知識・経験を活かしていただくため、ＧＳＫグループより社外取締役２名を招聘し

ております。下記役員派遣以外の人的な関係はなく、当社の事業戦略および資本政策等の経営方針に対する制約は受けておりません。

役職	氏名	親会社又はそのグループ企業での役職
社外取締役	マーク・デュノワイエ	ＧＳＫｐｌｃコーポレート・エグゼクティブ・チーム グラクソ・スミスクライン株式会社　代表取締役会長
社外取締役	杉本　俊二郎	グラクソ・スミスクライン株式会社　取締役

（２）親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、経営・事業活動への影響

本契約により、腎性貧血治療薬「エポエチンアルファＢＳ注ＪＣＲ」の海外開発ならびに希少疾病（レア・ディジーズ）医薬品の国内外開発に関する事業提携を進めておりますが、腎性貧血治療薬に関する海外での販売権はＧＳＫグループに付与されており、また、ＧＳＫグループでは、グラクソ・スミスクライン株式会社（日本法人）会長マーク・デュノワイエ氏を統括責任者としてグローバルベースでの開発を目的とした希少疾病事業部を立ち上げ当社とともに開発を進めていくことから、ＧＳＫグループと当社における開発品目ごとの国内外の棲み分けができているため事業上の競合はありません。さらに、ＧＳＫｐｌｃならびにそのグループ各社では、当社が販売する製商品についての競合がないことを確認しております。

当社は、本契約に基づき、ＧＳＫグループとの戦略的提携関係を維持し、企業価値の向上に努める所存でありますが、競合他社の開発状況、医療制度ならびにその他経済情勢等により、ＧＳＫグループとの本契約が変更または終了し、当社の製品開発の遅延または中断が生じた場合、当社の業績に重要な影響を与える可能性があります。

３．支配株主等との取引に関する事項

平成23年３月期におきましては、開示を要する重要な取引はありません。

４．支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

該当事項はありません。

以　上